

第6分科会 第4回運営委員会記録（概要）

平成17年10月29日（土）

午後1時～5時

区民会議交流の場

1 参加委員（敬称略）

- ・区民委員：（1班）入江雅子（2班）稲葉佳子（3班）梶村勝利、森田優子（4班）中山一郎（5班）竹折富美子（6班）高野 健（7班）尾上好美、鈴木幸展
- ・学識委員（三田、伊藤、土屋） 計12名

2 次第

- （1）学識委員の会議報告
- （2）会議運営についての課題
- （3）11月5日の区民会議について
- （4）その他

3 議事概要

（1）全分科会の学識委員及び事務局との打ち合わせ（10月27日開催）について

（概要報告）

①世話人会について：区民会議発足の当初から設置を予定していた世話人会（各分科会リーダー及び学識委員による構成）については、分科会によってリーダーの選出が間に合わない状況があり、中間発表会（2月19日）以降に設置する方向になった。

②中間発表会について：以下の方針で検討していくものとする。

- ・日時：平成18年2月19日（日）午後1時から4時、牛込箆笥ホールで開催
- ・中間発表会の内容は、主に各分科会として強調したい部分をパワーポイントにより発表し（@20分×6分科会で設定）、詳細な説明は別に作成する。
- ・企画運営は、各分科会から区民委員2名を選出したワーキンググループ（WG）を設置し、企画立案、周知、当日運営（進行役含む）を担当してもらう。
- ・会場の確保、印刷物、備品等の準備は区が担当する。

③今後のスケジュールについて

- ・中間発表会以降に横断的テーマなどの合同検討会を計画する。
- ・中間発表会以降に地区協議会との意見交換の場を計画する。

※第6分科会としては、当初予定のとおり、リーダー1名及び副リーダー2名の選出を行い、その中からWGの2名を出したい。予定としては、11月5日の運営委員会で検討し、11月19日の分科会で報告、承認いただければと考える。

※第6分科会の分野検討にあたっては、他の分科会との関連性が強いことから、WGのメンバーとの情報交換を進めていきたい。（WG以外に情報共有できる場面はない。）

(2) 会議運営にあたっての課題整理

- ①会議開催日程：日程は固定化する。あとは、引き続きの検討課題とする。
- ②検討の順番：11月中に多文化共生、地域安全をいったん終了させ、次回のテーマを検討する。
- ③班分けの方法：中間発表会終了までは再編成しない。
- ④班の意見のとりまとめ：多文化共生、地域安全のレポートを見てから判断する。
- ⑤班の発表の方法：レポートのフィードバックにより情報の共有化を図る。
- ⑥分科会のスケジュールなど：事務局イメージ案を参照しながら検討していく。

(3) 第9回分科会の進行内容について（11月5日開催）

- ・第3回運営委員会記録について確認。次回会議において会議録とともに配付する。
- ・議事進行は、運営委員会についての報告（中間発表会WG及びリーダー等の選出についての方針説明含む）、地域安全についての各班の検討を中心に行う。
- ・検討用の事前資料として、これまでの成果物としての「地域安全」を事務局でまとめ、10月31日に開催通知とともに送付する。
- ・第9回分科会のテーマ検討の到達点としては、「多文化共生」とともに次回の分科会（第10回）で全班のまとめが分科会全体にフィードバックできるレベルにまとめもらうこととする。

4 発言内容（抜粋）

①会議開催日程

- ・現行の会議開催方法の見直しが、必要。以下の提案があった。

◎当初想定（現行日程等）：第1土曜日（検討；レクチャー及び班別検討）、直後の水曜日の夜（フォロー会議）、第3土曜日（発表）、会議時間は2時間
(提案概要)

ア、月1回ペースで分科会全体会（合意形成の場合）を開催。班活動は個別の自主活動とする。運営委員会は、各班の活動を調整するとともに、全体会の準備を行う。

イ、第1、3の土曜日の日程は固定化し、会議時間を最大3時間程度にする。

ウ、現行日程を継続して、レクチャー等を減らし、検討時間を例えば90分確保していく。

エ、第1、3の土曜日の日程は固定化し、会議時間を最大4時間程度（合意形成時など）にする。レクチャーは運営委員会で次第を策定する際に、必要に応じて設定する。

オ、第1、3週ではなく、隔週開催としていく。

②検討の順番

- ・中間発表までに通り、テーマをこなした方がよい。
- ・残りの3つのテーマは個別、単独に検討するのは難しいのではないか。

- ・テーマごとに用語の定義などに疑義もある。まとめる前に区などから説明や確認を受けることも必要ではないか。
- ・第9回会議の到達点と第10回会議（11月19日開催）の内容に影響するが、検討の順番としては、第9回は地域安全を纏め上げ（出来ない班は11月18日まで）、第10回は「多文化共生」と「地域安全」を集約、仕上げるという方向とする。
- ・第11回以降は、第10回までの様子を見て決めてよいのではないか。

③班分け

- ・会議開催方法に関連して、欠席者の多い班の対応も考えなければならない。
- ・班によっては、参加者が一定しない、少人数や負担の偏りなどが生じている班がある。
- ・班分けをしない場合の対応も考えなければならない。（メンバー補強や班の合併など）
- ・長期欠席者なども会議開催方法が変われば参加できる場合もある。
- ・班分けに対する、期待とともに不安もある。

ア、地域安全のテーマを終えてから、改めて班分けを行う。

イ、地域安全のほかに、もう1つテーマを終えてから、改めて班分けを行う。

ウ、テーマ検討の間は、新たな班分けはしない。

エ、中間発表後に班分けを行う。（改めて検討する。）

オ、最後（提言）まで班分けをしないこととする。

④班の意見のとりまとめ

- ・事務局に報告されるレポートを、どのように集約するかを考え、成果物をフィードバックする形で、分科会全体で共有化していく。
- ・その後、分科会としてのまとめ、区民会議全体としてのまとめに持っていく。

5 次回の運営委員会

- ・分科会終了後、11月5日（土）午後3時から4時40分（予定）